

障がい者スポーツを楽しむ会

皆さん、こんにちは。私達は障がい者スポーツを楽しむ会です。この会の目的は、自宅に閉じこもりがちな障がい者の方たちが、楽しくスポーツに参加することにより、人々の交流ができ、体力の向上や社会参加の促進を期待しています。2003年(平成15年)7月に発足し、今年で8年目になります。

障がい者スポーツというのを皆さんはご存知ですか。車イステニスや車イスバスケット、水泳、マラソン、卓球…と、たくさんのスポーツがあります。その中で、私たちは、「フライングディスク」と「ポッチャ」という2種類の競技を練習しています。「フライングディスク」は、ディスクを的の中に投げ入れるアキュラシーと、どれだけ遠くまで飛ばせるかというディスタンスの2種類があります。

「ポッチャ」はカーリングに似た競技で、赤・青チームに分かれ、白い的のボールに近づける競技です。筋ジスや脊椎損傷者、脳性麻痺者などの重度障がい者のスポーツです。一昨年の北京パラリンピックで日本は初めて参加することができ、テレビでも放映されました。

そして、皆さんは国体というのをご存知ですね。国体の後に全国障がい者スポーツ大会が開かれています。私たちのメンバーの中から、「フライングディスク」の大阪府の代表として、毎年選ばれており、今年も3名の方が選出されました。頑張っています。

活動の内容としましては、和泉市民体育館で月1回の練習会を開催、そして私たちの会の主催で毎年「ポッチャ大会」と「フライングディスク大会」も開き、和泉市だけでなく、他市・他府県の方たちとも楽しく交流しています。その他、学校訪問、地域の福祉事業にも参加しています。

私たちは障がい者スポーツを障がい者だけでなく、広く市民にも紹介し、ともにスポーツを楽しみ交流が深まることを願い、今後もこの活動を続けたいと思っています。

〈連絡先〉TEL 090-2591-8386 代表 石崎 慶一



ゆい くら かん 結空間

2007年(平成19年)に草の根人権活動奨励賞をいただいてから3年がたちました。

残念ながら子どもたちが置かれている環境は、いまだ改善されているとは言えません。

家庭で多発する虐待、学校ではいじめなど、人権無視の抑圧的な社会状況は生きる希望さえ持てない人を多く出してしまっています。

しかし、そういう社会を「否」とし、人間らしい生活を自分たちで変えて行こうとする官民の多くの人たちの努力もまた大きなものがあります。

私たち結空間も、子どもと親、そして問題意識を持つ多くの方々との連携のもと、必要とされるサポート(相談事業、居場所事業、イベント事業など)だけでなく、既存の枠にとらわれないフレキシブルな、民間ならではのサポートを推進して、課題を抱えて孤立しがちな人・家庭を支え、社会とつなぐと同時に、現場の声・状況を広く社会に発信することによってよりよい社会への変革をめざしています。

子どものことで、どうすればいいかわからない、どこへ行けばいいかわからない、どこへ行っても必要とする支援を受けられないという方々に対し、多くの情報、スキル、ネットワークを持つ結空間がなくてはいけないことは多大です。

不登校、発達障害、引きこもりの人と家族に対し、みかんの談話室、認知能力強化プログラムの実施、いじめシンポジウム、自然体験教室、コミュニケーション講座、いじめ・不登校に関する講演・講座など、多彩なプログラムを用意しています。ぜひお問い合わせください。

〈連絡先〉

富田林市甲田3-9-26 TEL 0721-25-5132
webサイト <http://www.h6.dion.ne.jp/~yuispace/>

